

有意義な区長研修会

若槻地区を取り巻く交通網が数年後には劇的に変わって行くことがわかってきました。去る8月27日(水) 地区内の正副区長を対象に道路関連工事の進捗状況や関係施設等の視察を行いました。県道、市道関連それぞれ主管が異なる7施設でありましたが、地元の鈴木県議のお計らいもありスムーズな見学ができました。

- ① 広域農道「豊野幹線」の宇佐美沢付近で行われている橋梁工事。中野インターから十数分で吉の荒瀬原線につながり、北からの長野市街地へのアクセス道路になりそうです。28年度末には開通予定です。
- ② 都市計画道路「高田若槻線」の長野電鉄桐原、信濃吉田間の鉄道をくぐる四車線道路工事。これも28年度末完成を目指したもので、北長野通りとSBC通り間872mが開通すると若槻大通りが高田まで直線でつながり、若槻大通りの交通量は激増することが予想されます。期待と不安が混じる大動脈です。
- ③ 県道「長野豊野線」は皐月保育園南の駒沢川を越えて東豊線とつながる箇所から三才駅西側の現ローソンのある西三才交差点までの道路拡幅工事です。現在は三才駅から市立長野高校まで3.5mの歩道を整備とのこと。高専前の危険箇所も解消されます。
- ④ 北部スポーツ・レクリエーションパーク。東長野病院東斜面に広がる総合運動施設です。硬式野球・サッカーができる運動広場、テニスコートが4面とれる屋内運動場、マレットゴルフ場、スケボー、BMXなどができる本格コースに加えて子ども達が自由に遊べる遊具がそろった施設です。4月から運用されていますので、コミわかでのスポーツイベントや一般の若槻住民も大いに使って欲しいと感じました。
- ⑤ 市道若槻474号線。③の西三才交差点から④のレクリエーションパークを経由して田子地区へ通じる全長約2kmの2車線、両歩道付の新道です。坂上地区と三才駅が10分程度で結ばれ、便利になります。28年度に開通予定ですが、歩道は現在も使えるので、ウォーキングの新コースとして探検してみるのもお勧めです。
- ⑥ 北部幹線のJRアンダー工事。来年2月完成を目指し鉄道の下をくりぬく大工事が進んでいます。古里小学校までのアクセスが格段にアップ。古里方面からの買い物客の流入も予想され、市民病院なども近くなり、生活に密着する素晴らしい道路に変容していきます。
- ⑦ 運動公園雨水調整池。今年も全国各地で豪雨災害がおこっていますが、市が行っている大規模な水害防止対策施設を視察しました。長野運動公園のサブトラックの下にある巨大な調整池の中に入り、地下式の雨水調整池の仕組みを見ることができました。



①橋梁工事箇所



②長野電鉄アンダー工事箇所



④北部スポーツレクリエーションパーク管理棟前



⑥ JR アンダー工事箇所

※詳細は各区の区長さん、副区長さんにお尋ねください。(区長部)

防災訓練を実施

10月19日(日)に協力団体長、コミわか役員、区長、自主防災会役員と防災部会で若槻地区防災訓練を実施しました。

前半は、危機管理防災課による「防災対策と避難・避難所について」の講義を聞き、避難所に指定されている若槻小学校に備え付ける防災備品等を確認なども行いました。

後半は、避難所開設時には、地域の運営協力も想定されることから、グループ毎に仮定の避難所を運営していく図上訓練「避難所運営ゲーム HUG 若槻版」を体験しました。今回は、大地震が起き、停電、断水、下水道も使えない状況で、若槻小学校に設置した避難所を運営していくという設定です。刻々と状況が変わっていくシナリオが用意され、次々と押し寄せる難問への対応を考えるもので、実際の災害時同様に正解はなく、自らが考えるということを経験するゲームです。参加者は苦勞しながらも、頭をひねって効率よく避難所が運営できるように工夫していました。(防災部会)

